

主要産地における令和2年産水稻の生育状況等について 第7報 (6月30日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和2年6月30日)

| 道府県 | 生育状況等 |  | 技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋)  | (参考)  |
|-----|-------|--|--|---|
|     | 区分    | 育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)<br>平年に対する遅速等   |  |   |
| 北海道 | (生育)  | <p>【生育状況 (6月15日現在)】</p> <p>(全道) 生育は、平年並に進んでいる。(北海道農政部 6月18日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並であり、分けつの発生も良好である。(空知総合振興局 6月18日付)</p> <p>(石狩) 生育は平年並である。(石狩振興局 6月18日付)</p> <p>(後志) 遅速は1日早い。(後志総合振興局 6月18日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 6月17日付)</p> <p>(日高) 生育は高温・多湿により順調に進んでいる。(日高総合振興局 6月18日付)</p> <p>(渡島) 活着後の好天により、葉数の進みが早まり生育は平年並となっている。分けつは良好で茎数は平年を上回っている。(渡島総合振興局 6月18日付)</p> <p>(檜山) 生育は平年並で推移。(檜山振興局 6月18日付)</p> <p>(上川) 生育の遅速は、平年並に推移している。(上川総合振興局 6月18日付)</p> <p>(留萌) 生育は平年並に進んでいる。低温と日照不足の影響で茎数が少ない。(留萌振興局 6月18日付)</p> <p>(オホーツク) 6月上旬の高温により、生育はやや進んでいる。(オホーツク総合振興局 6月18日付)</p>   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は高く、オホーツク側では平年並か高い見込み。<br/>降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。<br/>(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁札幌管区気象台)</p> | <p>・主要品種に大きな変動はないものの、直播栽培に適した新品種「えみまる」が増加すると見込まれる。</p> <p>(農林水産省 3月17日)</p> <p>(以下同じ)</p>   |
| 青森  | (生育)  | <p>【6月20日現在の生育状況】</p> <p>「つがるロマン」草丈が39.7cmで平年より3.3cm長く、株当たりの茎数は15.8本で1.5本少なく、葉齢は7.9葉で0.3葉多かった。</p> <p>「青天の霹靂」草丈が44.8cmで平年より6.1cm長く、株当たりの茎数は13.6本で2.8本少なく、葉齢は6.9葉で0.2葉少なかった。</p> <p>「まっしぐら」草丈が45.0cmで平年より2.9cm長く、株当たりの茎数は15.5本で3.3本少なく、葉齢は7.1葉で0.2葉少なかった。</p> <p>(十和田) 【6月19日現在の生育状況】</p> <p>「まっしぐら」草丈が43.1cmで前年よりも0.3cm短く、株当たりの茎数は8.5本で10.5本少なかった。</p> <p>(青森県 6月22日付)</p>   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。<br/>(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁仙台管区気象台)</p>                      | <p>・「つがるロマン」「まっしぐら」の2品種で9割を占める品種構成で、近年収量水準の高い「まっしぐら」が増加傾向にあり、令和2年産も同様の傾向になるものと考えられる。</p>    |
| 岩手  | (生育)  | <p>【6月25日現在】</p> <p>(1) 農業研究センター(北上)<br/>「ひとめぼれ」「あきたこまち」の草丈、葉齢は平年並で、茎数は平年を大きく上回り、葉色は平年をやや上回っている。「銀河のしずく」の草丈は平年より長く、茎数、葉齢は平年並みで、葉色は平年より下回っている。</p> <p>(2) 東北農業研究所(軽米)<br/>「いわてっこ」の草丈、葉齢は平年並みで、茎数、葉色は平年を下回っている。(岩手県 6月26日付)</p> <p>【6月24日現在】</p> <p>(3) 大船渡農業改良普及センター「あきたこまち」「銀河のしずく」「ひとめぼれ」各品種とも順調に生育しており、目標茎数に達したほ場が多くみられる。(大船渡農業改良普及センター 6月26日付)</p>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。<br/>(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁仙台管区気象台)</p>                      | <p>・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県では「ひとめぼれ」「あきたこまち」からオリジナル品種「銀河のしずく」に転換を図ることとしている。</p> |
| 宮城  | (生育)  | <p>【6月19日現在】【県全体の平均】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草丈は 37.4cm (平年比108%)、1㎡当たりの茎数は413本(平年比103%)、葉数は8.6枚(平年差+0.2枚)、葉色はGM値が42.4(平年差+0.3)となっている。</li> <li>・6月10日以降平均気温が平年を上回る日が続き、生育は平年並みに回復した。(宮城県 6月22日付)</li> </ul> <p>(大崎) 6月19日現在。5月6半旬以降、気温と日照時間が平年を上回ったことで生育は良好。草丈と茎数が平年を上回り、有効茎数に達しているほ場が見られる。(大崎農業改良普及センター 6月23日付)</p> <p>(美里) 茎数が増加し、早いほ場では有効茎数を概ね確保。(美里農業改良普及センター 6月22日付)</p> <p>(石巻) 【6月19日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひとめぼれ」草丈(平年比110%)、1㎡当たり茎数(平年比90%)で目標有効茎数(410～460本)に達している。</li> <li>・葉数(主幹)(平年差+0.4枚)と平年よりも多くなっている。</li> <li>・「ササニシキ」草丈(平年比100%)、1㎡当たり茎数(平年比106%)で目標有効茎数(480～510本)に今後達するものとみられる。葉数(平年差-0.2枚)と概ね平年並。</li> <li>・「だて正夢」草丈(過去3年間の平均値比104%)、1㎡当たり茎数(同78%)で目標有効茎数(350～400本)に達するところ。葉数(主幹)(同+0.4枚)。</li> <li>・「金のいぶき」草丈(前年値比124%)、1㎡当たり茎数(前年比104%)で目標有効茎数(440～490本)に達している。</li> <li>・葉数(主幹)(前年差+1.3枚)。(石巻農業改良普及センター 6月22日付)</li> </ul> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。<br/>(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁仙台管区気象台)</p>                      | <p>・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっており、「つや姫」が増加傾向となっている。「萌えみのり」「だて正夢」はやや増加傾向にある。</p>                   |
| 秋田  | (生育)  | <p>(由利) 6月25日の水稲定植調査結果(2品種・移植5か所平均)によると、草丈は41.2cmで平年よりやや長く(平年比109%)、㎡あたり茎数は485本で平年よりやや多い(平年比105%)。葉数は9.0葉で平年よりやや多く(平年差+0.4葉)、葉色は42.7で平年より濃くなった(平年差+1.6葉)。(6月26日付)</p> <p>(秋田) 6月25日の調査では、草丈がやや高く、茎数、葉色は平年並みとなっている。(6月26日付)</p> <p>(山本) 6月25日の水稲定植調査結果(あきたこまち9地点平均)では、草丈40.6cm(平年比112%)、茎数466本/㎡(平年比119%)、葉数9.0(平年比+0.4)葉緑素計値(SPAD値)44.3(平年比100%)となっている。ほ場間差はあるものの、概ね目標茎数450本/㎡を確保している。(6月26日付)</p> <p>(平鹿) 6月25日現在の水稲定植調査(あきたこまち11か所)では、草丈36.7cm(平年比105%)、茎数399本/㎡(同比124%)、葉数8.7葉(同差+0.5葉)となっている。(6月26日付)</p> <p>(鹿角) 6月10日の水稲生育定植調査では、草丈27.6cmでやや長く(平年比106%)、㎡当たり茎数は228本で多く(平年比123%)、葉数は6.4葉でほぼ並(平年差+0.2)。(6月15日付)</p> <p>(北秋田) 水稲定植調査の結果、草丈は平年比103%、茎数は平年比108%、葉数は+0.2葉となっている。5月下旬から6にかけての好天により、生育が順調に進んだ結果、平年より生育が進んだものと考えられる(6月26日付)</p> <p>(雄勝) 順調に生育している。あきたこまちは平年よりも分けつが進んでおり、平年比137%となっている。草丈も平年比104%となっている。(6月19日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。<br/>(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁仙台管区気象台)</p>                      | <p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はないものの、「めんこい」や「ゆめおぼこ」等の多収性品種が増加傾向となり、一定のウェイトを占めてきた。</p>         |
| 山形  | (生育)  | <p>(西村山)「つや姫」「雪若丸」<br/>・生育は旺盛で平年より3日～4日早まっている。(西村山農業技術普及課 6月26日付)</p> <p>(鶴岡田川)「はえぬき」<br/>・6月19日現在の生育は、草丈は平年より長く、茎数は平年並、葉数は平年並、葉色は平年よりも濃い。総じておおむね平年並に回復している。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月26日付)</p> <p>(北村山)「はえぬき」「つや姫」「雪若丸」<br/>・6月19日現在の普及課の調査圃の生育は、いずれの品種も係数が多く、葉色は濃く、葉数は平年並。(村山総合支庁産業経済部北村山農業技術普及課 6月23日付)</p>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。<br/>(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁仙台管区気象台)</p>                      | <p>・「はえぬき」「つや姫」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。新品種「雪若丸」は増加傾向にある。</p>                                |
| 福島  | (生育)  | <p>【6月19日現在】(郡山市)<br/>「コンヒカリ」「ひとめぼれ」「天のつぶ」「ふくひびき」「あきたこまち」「里山のつぶ」「ちほみのり」「福笑い」「直播天のつぶ」</p> <p>・移植時期の早いものは生育が順調で、ほぼ平年並みの茎数を確保。5月中旬移植では、低温・強風の影響を受け生育が停滞したが、回復しつつある。おおむね平年より草丈は長く、茎数は少なく、葉齢は速み、葉色は濃く推移している。</p> <p>(郡山市農作物生産対策協議会(郡山市園芸畜産振興課) 6月23日付)</p>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。<br/>降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。<br/>(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁仙台管区気象台)</p>                      | <p>・「コンヒカリ」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成で、近年「天のつぶ」が増加傾向となっている。</p>                                      |
| 茨城  | (生育)  | <p>【水稻の生育状況 (6月19日現在、水戸市)】</p> <p>(5月1日移植・対平年遅速)<br/>「あきたこまち」5日早い、「ふくまる」平年並、「コンヒカリ」2日早い。</p> <p>(5月11日移植・対平年遅速)<br/>「コンヒカリ」4日早い。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月23日付)</p> <p>【水稻の生育状況 (6月16日現在、龍ヶ崎)】</p> <p>(4月24日移植・対平年遅速)<br/>「あきたこまち」2日遅い、「ふくまる」2日早い、「コンヒカリ」2日遅い。</p> <p>(5月7日移植・対平年遅速)<br/>「あきたこまち」3日早い、「コンヒカリ」4日早い。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月18日付)</p>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。<br/>降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁東京管区気象台)</p>                         | <p>・「コンヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「ふくまる」がやや増加傾向にある。</p>                         |

| 生育状況等 |  |  |   |
|-------|--|--|---|
| 栃木    | <p>【6月22日生育調査】</p> <p>(1) コシヒカリ<br/> ・草丈は高く(平年比126%)、莖数は多く(114%)、葉齢は0.2葉多く、葉色は0.8濃い。<br/> ・生育診断値(葉色×莖数)は平年比91%と小さい。<br/> ・現地調査ほ場は莖数が390~657本/㎡とバラツキが大きく、葉色が薄い。</p> <p>(生育) (2) とちぎの星<br/> ・草丈は64cmで平年比122%と高く、莖数は738本/㎡で平年比107%と多い。葉齢は9.7葉と平年並。<br/> ・葉齢から判断すると、生育は平年並と考えられる。葉色は3.4で平年より1.0濃い。<br/> ・生育診断値(葉色×莖数)は2.531で平年比82%と小さい。<br/> ・現地調査ほ場は莖数が307~515本/㎡となっており、5月23日移植の栃木市も必要莖数は確保されている。</p> <p>(3)宇都宮市で5月4日移植コシヒカリの出穂は7月28日頃の予想。(栃木県 6月25日付)</p>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日~7月26日】<br/> 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。<br/> 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/> (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】<br/> 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。<br/> 降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/> (気象庁東京管区気象台)</p> | <p>・「コシヒカリ」「あさひの夢」を中心とする品種構成に大きな変化はないが、オリジナル品種「とちぎの星」がやや増加傾向にある。</p>                              |
| 千葉    | <p>【6月25日現在】</p> <p>・6月中旬は、気温・日照ともに高く推移したことから、全体的に生育が進んでいる。</p> <p>(生育) (生育進捗)<br/> 「ふさおとめ(4月20日植)」並、「ふさこがね(4月20日植)」やや早、「コシヒカリ(4月20日植)」やや早、「コシヒカリ(5月1日植)」やや早、「粒すけ(4月20日植)」並。<br/> (千葉県 6月29日付)</p>   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日~7月26日】<br/> 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。<br/> 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/> (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】<br/> 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。<br/> 降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/> (気象庁東京管区気象台)</p> | <p>・「コシヒカリ」「ふさこがね」「ふさおとめ」を中心とする品種構成であり、近年「ふさこがね」が増加傾向にある。</p>                                     |
| 新潟    | <p>【6月18日現在の生育状況】<br/> 「コシヒカリ」指標値に比べ、草丈は「長い」、莖数は「やや多い」、葉数の進みは「やや早い」、生育は2~3日程度早い状況。「新之助」指標値に比べ、草丈は「やや長い」、莖数は「並」、葉色は「やや濃い」状況。「こしいぶき きん子舞、つきあかり」長岡市に設置した調査ほ場では、いずれも莖数や葉色は指標値並以上の生育。<br/> (新潟県 6月19日付)</p> <p>(三 条) 「コシヒカリ」草丈の伸長が大きく、指標値に比べ「草丈長い」、莖数並、葉数並、葉色並となった。<br/> (三条農業普及指導センター 6月18日付)</p> <p>(長 岡) 本年の出穂期は、昨年並で平年より2日早い予想。(長岡農業普及指導センター 6月18日付)<br/> (魚 沼) 出穂期は 昨年並に早まること予想される。(魚沼農業普及指導センターほか 6月30日付)<br/> (南魚沼) 田植え後の高温により莖数は指標値に比べて多く、多くのほ場で十分確保されている。<br/> (南魚沼農業普及指導センター 6月19日付)</p> <p>(上 越) 5月下旬からの高温傾向で生育が早まり、「コシヒカリ」「こしいぶき」とも草丈は長め、莖数はやや多め~多めで、葉色は濃い状態。(上越農業普及指導センター 6月18日付)</p> <p>(糸魚川) 「コシヒカリ」全体的に、生育は順調。(糸魚川地域振興局農林振興部 6月18日付)</p> <p>(佐 渡) 「コシヒカリ」生育は順調だが、今後は「より生育が過剰」となる危険がある。<br/> (佐渡農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(新発田) 【新発田管内のコシヒカリ生育状況】好天が続く指標値に比べ生育は早い。(新発田農業普及指導センター 6月19日付)<br/> (新 潟) 【生育調査結果(6月18日調査)】コシヒカリの生育は指標値に比べ、草丈「並」、莖数:「やや多い」、葉数:「やや多い」、葉色:「やや濃い」(新潟農業普及指導センター 6月18日付)</p> <p>(岩 船) 出穂期は早生・コシヒカリとも平年より2日早い予想(6月22日現在)。「こしいぶき」7月28日、「コシヒカリ」8月7日。<br/> (村上農業普及指導センター 6月29日付)</p> <p>(巻) 生育は1~2日程度早く、莖数は指標値並。早生の出穂は平年に比べ2日程度早い見込み。<br/> (巻農業普及指導センター 6月18日付)</p> <p>(柏崎) 本年の出穂期は、前年並で平年より2日早いと予想される。(柏崎地域農業振興協議会 6月24日付)</p> <p>(十日町) 生育は平年より早く進んでおり、特に莖数が多くなっている。(十日町農業普及指導センターほか 6月10日付)</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日~7月26日】<br/> 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。<br/> 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/> (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】<br/> 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。<br/> 降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/> (気象庁新潟地方気象台)</p>     | <p>・「コシヒカリ」「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少傾向にある。また、県では新品種「新之助」の作付拡大を推奨している。</p>                   |
| 富山    | <p>【6月23日生育観測】</p> <p>(1) てんたかく<br/> 平年に比べ、草丈は長く、莖数は多く、葉色はやや淡く、葉齢は進んでいる。葉齢を揃えて比較すると、草丈はやや長く、莖数は多く、葉色は平年並みとなっている。出穂期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、7月13日頃と見込まれる。</p> <p>(2) コシヒカリ<br/> 平年に比べ、草丈は長く、莖数は並み、葉色はやや淡く、葉齢はやや進んでいる。葉齢を揃えて比較すると、草丈はやや長く、莖数、葉色は平年並みとなっている。</p> <p>(3) てんこもり<br/> 平年に比べ、草丈はやや長く、莖数、葉齢は並み、葉色はやや淡くなっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈はやや長く、莖数は平年並み、葉色はやや淡くなっている。</p> <p>(4) 富富富<br/> 近年に比べて、草丈はかなり長く、莖数、葉色は並み、葉齢は進んでいる。葉齢を揃えて比較すると、草丈は長く、莖数はやや少なく、葉色は近年並みとなっている。(富山県 6月23日付)</p>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日~7月26日】<br/> 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。<br/> 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/> (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】<br/> 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。<br/> 降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/> (気象庁新潟地方気象台)</p>     | <p>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、高温炎熱でも品質が安定している「てんこもり」「富富富」が増加傾向にある。</p>                           |
| 石川    | <p>【本田の生育6月23日調査】<br/> 1. 予想出穂期(早生品種)<br/> 「ゆめみづほ」 出穂期は加賀地で7月16日頃と平年に比べ3日程度早く、前年並、能登地域(羽咋~中能登)では7月20日頃と平年に比べ2~3日程度早く、前年に比べ2日程度遅いと予想される。<br/> 「能登ひかり」 能登地域(奥能登~珠洲)の能登ひかりの出穂期は、7月23日頃と平年及び前年に比べ1日程度早いと予想される。</p> <p>(生育) 2. 草丈<br/> 「ゆめみづほ」 平年比118%(加賀地帯117%、能登地帯121%)と長い。<br/> 「コシヒカリ」 平年比120%(加賀地帯121%、能登地帯118%)と長い。</p> <p>3. ㎡当たり莖数<br/> 「ゆめみづほ」 平年比96%(加賀地帯100%、能登地帯89%)と平年並で前年に比べ少ない。<br/> 「コシヒカリ」 平年比97%(加賀地帯97%、能登地帯103%)と平年及び前年並。(石川県農林総合研究センター 6月24日付)</p>   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日~7月26日】<br/> 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。<br/> 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/> (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】<br/> 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。<br/> 降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/> (気象庁新潟地方気象台)</p>   | <p>・「コシヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年県オリジナル新品種の「ひやくまん殺」が増加傾向にある。</p>                              |
| 福井    | <p>【6月25日調査】</p> <p>(生育) ・5月2日植えのハナエチゼンでは6月24日(平年より3日早い)に幼穂形成期を迎えた。<br/> (水田農業レベラップ委員会技術普及部会 6月25日付)</p>   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日~7月26日】<br/> 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。<br/> 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/> (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】<br/> 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。<br/> 降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/> (気象庁新潟地方気象台)</p>     | <p>・「コシヒカリ」「ハナエチゼン」を中心とする品種構成であるが、近年「コシヒカリ」が減少傾向、「あきさかり」が増加傾向にある。なお、新品種である「いちほまれ」も増加傾向にある。</p>    |
| 長野    | <p>(生育) ・6月10日現在、生育は平年より4日程度進んでいると予測される。<br/> ・定点圃場における6月15日の生育調査では、平年より草丈は長く、莖数も多くなっている。<br/> ・5月上旬までに田植えされた圃場では、株当たりの莖数が30本以上になっている圃場もある。<br/> (松本農業農村支援センター 6月15日)</p>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日~7月26日】<br/> 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。<br/> 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/> (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】<br/> 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。<br/> 降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/> (気象庁東京管区気象台)</p> | <p>・「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種として「風さやか」の導入を推進している。</p>                          |
| 滋賀    | <p>【農業技術振興センター水稲作況調査(6月19日時点)】</p> <p>(生育) ・草丈は、「みずかがみ」、「コシヒカリ」とも平年より長かった。<br/> ・莖数は、高品種ともに平年より少なかった。<br/> ・葉数は、「みずかがみ」が0.3枚多く、「コシヒカリ」は0.4枚多かった。<br/> (滋賀県農業技術振興センター 6月25日付)</p>   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日~7月26日】<br/> 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。<br/> 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/> (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】<br/> 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。<br/> 降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/> (気象庁大阪管区気象台)</p> | <p>・「コシヒカリ」「キヌヒカリ」「日本晴」を中心とする品種構成であるが、近年「コシヒカリ」「キヌヒカリ」が減少傾向となっている。高温炎熱性に優れた「みずかがみ」を増加する計画である。</p> |

|       | 生育状況等   |  |   |
|-------|---|--|---|
| 兵 庫   | <p>(県北) 移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>(県南) 苗の生育は順調である。</p> <p>(育苗・生育) (兵庫県 6月4日付)</p>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】<br/>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】<br/>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁大阪管区気象台)</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付推進を図っている。</li> </ul>  |
| 岡 山   | <p>・中北部地帯の田植時期、生育概況は概ね平年並である。</p> <p>(生育) (岡山県 5月28日付)</p>  | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】<br/>中国地方の向こう1か月の気温は高い見込み。<br/>降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】<br/>中国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁広島地方気象台)</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アケボノ」「ヒノヒカリ」「あきたこまち」「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。近年「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</li> </ul>  |
| 広 島   |   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】<br/>中国地方の向こう1か月の気温は高い見込み。<br/>降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】<br/>中国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁広島地方気象台)</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきさかり」が増加傾向にある。</li> </ul>   |
| 愛 媛   |   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】<br/>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】<br/>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁高松地方気象台)</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</li> </ul>   |
| 高 知   | <p>【早期米の出穂期予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【南園そだち】6月18日±3日 (4月5日移植)</li> <li>・【よさ恋美人】6月26日±5日 (4月4日移植)</li> <li>・【コシヒカリ】7月2日±7日 (4月11日移植)</li> </ul> <p>(生育) (中央西農業振興センター 高知農業改良普及所 6月16日付)</p>   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】<br/>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】<br/>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁高松地方気象台)</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培では「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成であるが、近年、高温多湿性に優れた「よさ恋美人」が増加傾向にある。「南園そだち」は減少傾向。</li> <li>・普通栽培では「にこまる」が増加傾向にある。</li> </ul> |
| 福 岡   | <p>【6月15日現在】</p> <p>(1) 早生水稲(夢つくし、コシヒカリ)<br/>田植え後、4月の低温の影響で初期生育はやや遅れていたが、5月からの高温多照により回復。<br/>4月下旬植えの出穂期は平年並の7月中旬の見込み。</p> <p>(田植・生育) (2) 普通期水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)<br/>5月中旬～6月上旬植えは、田植え後、高温多照で経過したため、活着が良く生育は順調。<br/>麦収穫後の田植えも始まり、平坦地の「夢つくし」は6月上旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が最盛期となる見込み。</p> <p>(福岡県農林業総合試験場 6月15日付)</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】<br/>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】<br/>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁福岡管区気象台)</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が減少傾向、「夢つくし」「元気つくし」が増加傾向となっている。なお、県では、新品種「実りつくし」の拡大を推奨している。</li> </ul>        |
| 熊 本   |   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】<br/>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】<br/>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁福岡管区気象台)</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」「コシヒカリ」を中心とする品種構成に、大きな変化はない。</li> </ul>  |
| 宮 崎   | <p>【作物の生育状況 (6月中旬)】</p> <p>(生育) ・早期水稲は穂ばらみ期、普通期水稲は移植前後(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月23日)</p>   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】<br/>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】<br/>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁鹿児島地方気象台)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「み系358」への作付誘導が進められている。</li> </ul>   |
| 鹿 児 島 |   | <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月27日～7月26日】<br/>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】<br/>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。<br/>降水量は、ほぼ平年並の見込み。<br/>(気象庁鹿児島地方気象台)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なつほのか」及び「あきほなみ」が増加傾向にある。</li> </ul>  |

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。  
注2：令和2年6月30日15時時点での取り纏め。  
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 6月1日現在(北海道 6月18日)、  
農作物生育状況 6月1日現在(北海道空知総合振興局 6月18日)、  
農作物生育状況 6月1日現在(北海道石狩振興局 6月18日)、  
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道後志総合振興局 6月18日)、  
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道胆振総合振興局 6月17日)、  
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道日高振興局 6月18日)、  
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道渡島総合振興局 6月18日)、  
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道檜山振興局 6月18日)、  
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道上川総合振興局 6月18日)、  
農作物生育状況調査の概要 6月1日現在(北海道留萌振興局 6月18日)、  
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月18日)、  
作況調査報告(6月20日現在の生育状況)(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月19日)、  
令和2年度水稲生育定期調査結果No.3(6月25日現在)(岩手県農業研究センター 6月26日)、  
令和2年度水稲生育診断(ほ生育状況No.2(6月24日現在)(大船渡農業改良普及センター 6月26日)、  
令和2年度水稲の生育状況について(6月19日現在)(宮城県農政部みやぎ米推進課 6月22日)、  
令和2年度美里地区の稲作情報第4号(宮城県美里農業改良普及センター 6月22日)、  
令和2年度大崎稲作情報第3号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月23日)、  
稲作情報(vol.3)(石巻農業改良普及センター 6月22日付)、  
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月26日)、  
つや姫雪若丸穂肥だより(西村山農業技術普及課 6月26日)、  
おいしい米づくり情報第7号(庄内総合支庁 6月24日)、  
北村山のおいしい米づくり情報稲作だより第7号 水管理・中干し(北村山農業技術普及課 6月23日)、  
「こおりやまの米」通信 生育速報(6月19日現在)(郡山市農作物生産対策協議会 6月23日付)、  
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月18日)、  
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月23日)、  
令和2(2020)年度水稲生育診断予測事業速報No.3(栃木県 6月25日)、  
水稲の生育と当面の対策第4報(千葉県 6月29日)、  
水稲の生育と今後の管理対策(第3号)(新潟県 6月19日)、  
令和2年度水稲生育速報No.3(新潟県農業普及指導センター 6月19日)、  
水稲生育速報No.3(巻農業普及指導センター 6月18日)、  
FAX稲作情報No.6(三条農業普及指導センター 6月18日)、  
稲作情報No.4(長岡農業普及指導センター 6月19日)、  
コンヒカリ稲作情報(IA北魚沼・魚沼農業改良指導センター 6月30日)、  
南魚沼産コンヒカリ生育速報No.3(6月18日調査)(南魚沼農業普及指導センター 6月19日)、  
柏崎・刈羽地域稲作だより(号外)(柏崎地域農業振興協議会 6月24日)、  
コンヒカリ・こしいぶき生育速報(6月18日)(上越農業普及指導センター)、  
令和2年度糸魚川売れる米づくりコンヒカリ生育情報No.3(糸魚川地域振興局 6月18日)、  
令和2年度稲作生育速報No.3(佐渡農業普及指導センター 6月18日)、  
十日町地域稲作生育速報(十日町農業普及指導センターほか 6月10日)、  
稲作速報No.3(新潟農業普及指導センター 6月18日)、  
岩船米づくり情報No.4(村上農業普及指導センター 6月29日)、  
TACS情報第5号(富山県 6月23日)、  
令和2年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-5号)(石川県農林総合研究センター 6月23日調査)、  
稲作情報No.9(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月25日)、  
令和2年度作物技術普及情報第7号(松本農業農村支援センター 6月15日)、  
令和2年度水稲生育診断情報No.2(滋賀県農業技術振興センター 6月25日)、  
令和2年度兵庫県農業気象技術情報No.2(6月情報)(兵庫県 6月4日)、  
令和2年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 5月28日)、  
早期米生産農家の皆様へ(中央西農業振興センター 高知農業改良普及所 こうち農業ネット 6月16日付)、  
福岡県の主な農産物の生産情報(福岡県 6月15日現在)、  
令和2年度病害虫発生予報第3号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 6月23日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月25日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月25日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月25日気象庁)  
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月25日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月25日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月25日広島地方気象台)  
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月25日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月25日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月25日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(6月24日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(6月24日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(6月24日気象庁)  
北陸地方こう3か月の天候の見通し(6月24日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(6月24日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(6月24日広島地方気象台)  
四国地方こう3か月の天候の見通し(6月24日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(6月24日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(6月24日鹿児島地方気象台)、

令和2年度水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月17日)